

平成 25 年 4 月 10 日

各 位

公益財団法人 経営者顕彰財団
株式会社 西日本シティ銀行

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞受賞者決定のお知らせ

第 40 回経営者賞受賞者が下記の通り決定しましたので、お知らせいたします。

記

ナカハラ シヘイ

仲原 志平 氏 [SHIHEI NAKAHARA](#)

九星飲料工業株式会社 代表取締役会長
福岡県糸島市波多江字中川原 100
85 歳

ニシハラ タカシ

西原 孝思 氏 [TAKASHI NISHIHARA](#)

株式会社西原商事 代表取締役
北九州市八幡西区陣の原 2-2-21
61 歳

モリ マコト

森 信 氏 [MAKOTO MORI](#)

ナチュラル株式会社 代表取締役社長
福岡県朝倉市一ツ木 1148-1
55 歳

なお、表彰式・祝賀会は、平成 25 年 4 月 26 日（金）11:00 よりグランド・ハイアット福岡（3 階ボール・ルーム）にて開催いたしますので、あわせてご案内申し上げます。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人 経営者顕彰財団
事務局長 河部 正

TEL:092-476-2154 FAX:092-476-2634

e-mail: info@kk-foundation.jp

各受賞者の「経営者賞」受賞理由

1. 仲原 志平 氏

家業であったラムネ製造業を、時代の変化に対応して、大手飲料メーカーを顧客とする受託加工業に転換し、絶えざる商品開発と確かな製造技術力により、百年を超える長寿企業に育て上げた。

自社の発展のみならず、清涼飲料業界全体の発展の為に長年複数の業界団体の役員を務め、清涼飲料の不公正税制の是正、正しい納税体制の構築等に尽力した。

清涼飲料業、家族、社員、地域への深い愛情に裏打ちされた、経営者としての優れた情報収集・分析力、決断力、行動力をあわせ持っている。

2. 西原 孝思 氏

北九州地域における産業廃棄物処理業のイメージ変革を率先して行い、また、廃棄物処理のシステム化により顧客のコスト低減を実現、大手量販店等との取引を開始し、業容を拡大させた。

環境問題への取り組みにより、北九州市のごみ分別や資源の再利用に貢献し、さらに、市と共同でインドネシア等海外の廃棄物処理の指導も行っている。

古紙問屋から一代で北九州地域における有力な産業廃棄物処理業を築いた。業界を熟知した深い経験と忍耐強さ、従業員や顧客からの信頼を得る経営者としての力量を備えている。

3. 森 信 氏

小さな薬局から始めて、専門性を持つドラッグストアとして 24 年間で九州全域に 185 店舗まで拡大し、ドラッグストア業界で非上場日本一にまで登りつめた。

単なる薬局というビジネスのみではなく、地域への貢献を常に考え、盲導犬育成や献血協力等の社会貢献活動を幅広く行っている。

健康に関する専門的なアドバイスが出来る地域密着型のかかりつけ薬局を目指し、着実にその目標を達成してきた、経営者としてのゆるぎない信念と行動力を備えている。

以上

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|----------|---|
| 氏 名 | 仲原 志平 氏 (SHIHEI NAKAHARA) |
| 生年月日(年齢) | 昭和 2 年 6 月 30 日 (85 歳) |
| 企業名・役職 | 九星飲料工業株式会社・代表取締役会長 |
| 所在地 | 福岡県糸島市波多江字中川原 100 |
| 事業内容 | 清涼飲料、酒類の受託加工、製品開発および製造販売 |
| 資本金 | 50,000 千円 |
| 電話&FAX | TEL092-324-9999 FAX092-324-9900 |
| 従業員数 | 135 人 |
| 創業・創立 | 創業 明治 40 年 2 月 1 日 / 創立 昭和 28 年 4 月 1 日 |
| 工場・営業所 | 本社・伊都工場・伊都配送センター・東京オフィス |
| 関連会社 | 株式会社スターナイン(清涼飲料の販売) |
| 受賞理由 | <p>受賞理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時代の変化に応じて、家業だったラムネ業を大手飲料メーカーを顧客とする受託加工業に転換し、絶えざる商品開発と製造技術力で百年を超える長寿企業に育て上げたこと。 2. 自社の発展のみならず、清涼飲料業界全体の発展のために長年複数の業界団体の役員を務め、清涼飲料の不公正税制の是正、正しい納税体制の構築等に尽力したこと。 3. 清涼飲料業、家族、社員、地域への深い愛情、経営者としての情報力、決断力、行動力。 <p>概 要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲原氏は明治 40 年に実父・善右衛門氏が創業したラムネ・かまぼこ工場を実父の死後引継ぎ、昭和 25 年に自宅にて九星飲料工業所として家族 10 人で創業。 ・ 昭和 29 年に本社工場敷地を購入し売上を拡大、その後は高度成長の波に乗って、大手メーカーのコーラやサイダーの登場によるラムネの売上の低迷から昭和 40 年に業界で最も早くラムネ製造から撤退、「受託加工業」としての道を選択した。 ・ その後、大手飲料メーカーがリターナブルびん製品、缶飲料、PET 飲料、ワンウェイびん飲料へ変わっていく中に、昭和 59 年業界の先陣を切って PET ボトル用ワンウェイびん用のラインを導入、受託加工業の真価を発揮し業容を拡大していった。 ・ また、平成 14 年から伊都工場も稼働、ISO9001 の認証を受け、消費者の安全・安心を追及し、メーカーのさらなる信頼を得て、同社の発展につながっている。 ・ 現在では、大手メーカーでは出来ない多品種少量生産設備、工場敷地 |

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|--|---|
| | <p>内の広大な倉庫、糸島の清らかな水をうまく生かした清涼飲料・酒類の受託加工、商品開発、製造販売を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ このように同社が百年近くにわたって業容拡大を図ってこれた原動力は、仲原氏のゆるぎない信念と家族への愛情、そして経営者としての情報力、決断力、行動力によるものである。 <p>ラムネ業界、中小企業業界、課税当局との交渉等による貢献</p> <ul style="list-style-type: none">・ 仲原氏は、福岡県清涼飲料工業組合・福岡県清涼飲料工業協同組合の理事(昭和 35 年～)、理事長(昭和 45 年～)、全国清涼飲料工業組合連合会・全国清涼飲料工業会・全国清涼飲料協同組合連合会の常務理事(昭和 47 年～)、全国清涼飲料加工業振興会会長(昭和 48 年より一期 2 年 14 期)、全国清涼飲料工業会副会長(一期 2 年 4 期)を歴任し清涼飲料業界の発展に貢献。・ 中小企業団体活動としては、福岡国税局間税協力会連合副会長、全国間税協力会総連合会常任理事(昭和 45 年～)、福岡西部法人会理事(昭和 62 年～)、同常任理事(平成 3 年～)、福岡間税会会長(平成 7 年、一期 2 年 5 期)を歴任。・ 昭和 45 年から清涼飲料水への二重課税廃止のため自民党政調会へ陳情、その後全国的な廃税運動の広がりとなった。また、全国の中小飲料メーカーに受託加工業を提唱して回り、昭和 48 年には自ら全国清涼飲料加工業振興会を立ち上げ、全国の下請け加工業の技術の研鑽・生産能力の向上に努めた。・ その後も清涼飲料水に対する不公正税制の是正のため尽力したり、福岡市との交渉で事業所税の特例認可を認めさせ、その後全国に適用されるなど貢献した。・ また、間税会の役員として自主的な申告納税の促進や円滑な税務運営への協力など正しい納税体制の構築にも尽力した。 <p>地域への貢献</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昭和 50 年当時、自社の地元の妙正寺の新築移転に際し、用地買収、造成、建築工事、跡地売却まで門徒として手助けした。・ 地元の糸島高校の同窓会長として同窓生の募金による国際交流基金の創設、海外研修制度の立ち上げ、同校の生徒を対象にした無返還の奨学金制度創設、マルチメディアルームの寄贈など尽力し、会長退任後も奨学金への私財投与などを行っている。・ 昭和 53 年の福岡市大洪水時に本社工場の湧水を寄贈したり様々な社会貢献を行っている。 |
|--|---|

1【仲原 志平氏】

第40回(平成24年度)経営者賞

| | |
|--|---|
| | <p>主な受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昭和50年11月 農林大臣感謝状(食品産業発展功労)・ 昭和58年1月 全国間税協力会総連合会長賞・ 昭和60年11月 厚生大臣感謝状(食品衛生工場発展功労)・ 平成元年4月 藍綬褒章受章・ 平成12年11月 勲五等雙光旭日章受章・ 平成13年10月 国税庁長官納税表彰 <p>沿革</p> <ul style="list-style-type: none">・ 明治40年2月 福岡市早良区西町において九星合資会社創業。・ 大正2年5月 福岡市西区周船寺に分工場を開設(昭和18年工場閉鎖)。・ 昭和25年5月 現会長が九星飲料工業所を設立。ラムネ製造を再開。・ 昭和28年4月 九星飲料工業株式会社として法人成り、社長に就任。・ 昭和29年3月 旧本社工場完成。操業開始。・ 昭和42年3月 受託加工を本格的に開始。(ラムネ製造撤退)・ 昭和59年4月 大型PETライン新設。・ 平成12年12月 ISO9002認証取得。・ 平成14年3月 現在地に伊都工場完成。・ 平成14年6月 本社を現在地に移転。 |
|--|---|

1【仲原 志平氏】

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|-----------|---|
| 氏 名 | 西原 孝思 氏 (TAKASHI NISHIHARA) |
| 生年月日(年齢) | 昭和 26 年 5 月 25 日(61 歳) |
| 企業名・役職 | 株式会社西原商事・代表取締役 |
| 所 在 地 | 北九州市八幡西区陣原 2-2-21 |
| 事 業 内 容 | 産業廃棄物収集運搬業、廃棄物処理中間処理業、廃棄物一元管理業務 |
| 資 本 金 | 10,000 千円 |
| 電 話 & FAX | TEL 093-641-2055 / FAX 093-641-2088 |
| 従 業 員 数 | 90 人 |
| 創 業・創 立 | 創業 昭和 47 年 5 月 1 日 / 創立 昭和 55 年 4 月 1 日 |
| 工場・営業所 | 本社 福岡支店 糸島営業所 第 2 工場 第 5 工場 YUBARU 第 6 工場 CRIP 第 7 工場 FROG 箱崎工場 |
| 関 連 会 社 | 株式会社ビートルマネージメント、株式会社 CRIP |
| 受 賞 理 由 | <p>受賞理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 北九州市で産業廃棄物処理業のイメージ変革を率先して行い、廃棄物処理のシステム化による顧客のコスト低減等により大手量販店等との取引開始で業容を拡大させたこと。 2. 環境問題への取り組みで北九州市のごみの分別や資源の再利用に貢献し、市と共同でインドネシア等海外の廃棄物処理の指導も実践していること。 3. 古紙問屋から一代で北九州地域における有力な産業廃棄物処理業を築いた、業界を熟知した経験と我慢強さ、従業員や顧客からの信頼を勝ち得る経営者としての力量。 <p>概 要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 43 年、西原氏 17 歳で北九州にて起業、47 年、21 歳で古紙問屋を創業、昭和 55 年に有限会社西原商事設立。常に時代の流れやリサイクル法などの規制を先取りし、事業を展開させてきた。産業廃棄物の伝票処理簡素化、コスト削減等を売りに取引先を拡大し、日本を代表する飲料メーカー、大手家具量販店、大手ディスカウントストア等大手量販店との取引開始で業容拡大。 ・ 産業廃棄物回収業者のイメージ変革のために、車に「BEETLE」の名称を付け、紺色に統一、従業員の服装も統一し、接遇も改善し、他社差別化を図った。 ・ 平成 10 年にリサイクル工場を建設、北九州市のごみの分別に貢献し、併せて資源の再利用で売り上げも増加、2001 年(平成 13 年)ISO4001も取得、環境問題への取組による企業イメージのアップにもつながった。ベト |

2【西原 孝思氏】

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|--|--|
| | <p>ナムやロシア等への指導も実施。</p> <ul style="list-style-type: none">平成 22 年にはインターネット上での廃棄物集中管理システムを開発。処理責任の観点からスマートフォンでの追跡機能等廃棄物処理の実態把握システムを完成、特許取得などにより、中小企業 IT 経営力大賞にて経営実践企業として認定。平成 24 年には北九州市から産業廃棄物処分優良業者として表彰され、同年 11 月に北九州市の姉妹都市スラバヤ市とのプロジェクトに廃棄物中間処理業者として参加した。またインドネシアの政府開発援助事業に廃棄物処理業者として初めて企画が採用されるなど、海外展開においても着実に実績を重ねている。このように産業廃棄物処理業という、ともすればマイナスイメージばかりが先行しがちな業界のイメージを刷新し、廃棄物集中管理システム開発や海外展開などを次々と実行していく原動力は、苦難の時代を生き抜いた西原氏の、業界を熟知した経験と我慢強さ、そして従業員や顧客からのゆるぎない信頼を勝ち取る人間性にある。 <p>業界地位</p> <ul style="list-style-type: none">産業廃棄物、及び中間処理業者としては北九州最大級の業容。産業廃棄物回収だけでなく、自社内でリサイクルを行い資源を再利用、生ごみは堆肥として再利用するなど時代のトレンドに合った取り組みを次々と実施し、又姉妹都市スラバヤ市のビジネスミッションへの参加など環境都市をアピールする北九州市からの信頼も得ている。ごみ資源化の先駆者として、後進国からの視察も多く、逆に海外から現地視察を要請されるなど、海外の認知度も高まっている。 <p>沿革</p> <ul style="list-style-type: none">昭和 47 年 5 月 古紙問屋として創業。昭和 55 年 4 月 有限会社西原商事設立。平成 10 年 2 月 株式会社ビートルマネージメント設立。平成 11 年 6 月 株式会社西原商事へ組織変更。平成 13 年 2 月 福岡支店 廃棄家電指定引き取り所受託。平成 17 年 10 月 株式会社ビートルマネージメント管理業務開始。平成 24 年 2 月 中小企業 IT 経営努力大賞にて IT 経営実践企業として認定。北九州市より産業廃棄物処分業優良業者として表彰。 <p>経営者経歴</p> <ul style="list-style-type: none">昭和 42 年 愛媛にて産業廃棄物回収会社に勤務。 |
|--|--|

2【西原 孝思氏】

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 昭和 43 年 北九州にて個人起業。・ 昭和 47 年 5 月 古紙問屋として創業。・ 昭和 55 年 4 月 有限会社西原商事設立。同社代表取締役に就任。・ 平成 10 年 2 月 株式会社ビートルマネージメント設立、同社代表取締役に就任。・ 平成 17 年 10 月 株式会社ビートルマネージメント管理業務開始。 |
|--|--|

2【西原 孝思氏】

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|-----------|--|
| 氏 名 | 森 信 氏 (MAKOTO MORI) |
| 生年月日(年齢) | 昭和 33 年 2 月 21 日 (55 歳) |
| 企業名・役職 | ナチュラル株式会社・代表取締役社長 |
| 所 在 地 | 福岡県朝倉市一ツ木 1 1 4 8 - 1 |
| 事 業 内 容 | 医薬品・食品他小売業(ドラッグストア) |
| 資 本 金 | 30,000 千円 |
| 電 話 & FAX | TEL 0946-21-0008 / FAX0946-21-0525 |
| 従 業 員 数 | 3,111 人 |
| 創 業・創 立 | 創業 昭和 58 年 4 月 / 創立 昭和 63 年 3 月 |
| 工場・営業所 | 福岡県 66 店舗、佐賀県 29 店舗、長崎県 25 店舗、熊本県 20 店舗、大分県 12 店舗、宮崎県 12 店舗、鹿児島県 13 店舗、沖縄県 7 店舗、愛媛県 1 店舗 合計 185 店舗 |
| 関 連 会 社 | (株)ナチュラルホールディングス、(有)Aプランネット、(有)もり薬品、(株)ディーエスエム、(株)ナチュラルサポート、(有)ドラッグストアモリサポート、(株)ジャパントレーディング FT |
| 受 賞 理 由 | <p>受賞理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小さな薬局から始めて、専門性を持つドラッグストアとして 24 年間で九州全域に 185 店舗まで拡大し、ドラッグストア業界で非上場日本一にまで登りつめたこと。 2. 単なる薬局というビジネスではなく地域への貢献を常に考え、盲導犬育成や献血協力等の社会貢献活動を幅広く行っていること。 3. 健康に関して専門的なアドバイスが出来る地域密着型のかかりつけ薬局を目指し、着実にその目標を達成してきた経営者としてのゆるぎない信念と行動力。 <p>概 要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同社は、昭和 58 年 4 月に福岡市東区香椎にて森薬局として創業した後、昭和 63 年にドラッグストアの成長性を見越して、同業界に参入し、24 年間で九州全域に 185 店舗まで拡大、ドラッグストア業界では非上場として日本一の地位を確立している。 ・ 業界では人員削減などにより低価格販売を実現しようとする傾向の中、同社は単なる薬局ではなく、地域の相談相手となる接客サービスを目指す等、地域密着及び社員教育に力を入れている。 ・ また、地域密着の一環として森氏のもとで社会貢献活動を積極的に行っている。 ・ 同社は、「より健康で、より美しく、より若くて長生きすることをサポート!!!」 |

第 40 回（平成 24 年度）経営者賞

| | |
|--|--|
| | <p>をテーマに掲げ、地域密着型のかかりつけ薬局をめざし、顧客に迅速で安全、心のこもったカウンセリングサービスの提供を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ そのために、同社では社員向けの研修を充実させ専門家を育成することで、食事や健康についてアドバイスが出来る「薬局としての専門性と高さ」により地域一番店となることを目指している。・ 具体的には、各店舗に管理栄養士を配置、定期的な栄養相談会を実施したり、化粧品リーダー等専門スタッフを各店に配置し相談体制を完備するなどしており、そのための専門性の高い研修を実施している。・ 同社が短期間でここまで成長できたのは、造園業を営んでいた父親の厳しい教育のもと、自らは薬局開業という別の道を選び、地域のための薬局をひたすら目指してきた森氏のゆるぎない信念と行動力によるものである。・ 森氏は現在、日本チェーンドラッグストア協会の理事を務め、最近では一般医薬品のインターネット販売等の新たなルールに関する厚生労働省の検討会メンバーに加わっている。 <p>地域密着・社会貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 東日本大震災の義捐金募金活動を全店で実施。・ 盲導犬育成支援の募金活動を全店で実施。・ 地域献血協力活動を日本赤十字社と連携して実施。・ チャリティカラオケ大会開催で集まった寄付金を地域の見守り活動などに貢献。・ 筑後川マラソン大会のメインスポンサーとして貢献。・ その他、子育て応援のための相談会や地域の防犯・交通安全、福祉への協力活動など幅広く社会貢献活動を行っている。 <p>沿 革</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昭和 58 年 4 月 福岡市東区香椎にて森薬局創業。・ 昭和 63 年 3 月 ドラッグストア部門として同社設立。・ 平成 8 年 4 月 佐賀県に初出店。・ 平成 8 年 10 月 大分県に初出店。・ 平成 10 年 11 月 本社を朝倉市(現在地)に移転。・ 平成 13 年 1 月 熊本店に初出店。・ 平成 15 年 3 月 長崎県に初出店。・ 平成 17 年 9 月 宮崎県に初出店。・ 平成 17 年 12 月 鹿児島県に初出店。・ 平成 21 年 6 月 沖縄県に初出店。九州全県に出店。・ 平成 24 年 11 月 愛媛県に初出店。 |
|--|--|